

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2159
研究開発課題名	スマートゲノム育種に基づく気候危機・自動化農業に適合する頑健・多収植物開発によるプロセスイノベーション
研究代表者	静岡大学 グリーン科学技術研究所 教授 富田 因則

**総合評価**

品種改良の成果とそれに基づく特許化、学術的成果、ともに優れた成果を挙げていると評価できる。頑健・短稈化技術に関するフェーズ1のFSとして十分な取り組みがなされた。今後は外部機関での検証による課題抽出など、技術的取り組みにより実装を加速すると共に、具体的なビジネスプランの構築とそれに基づいた事業化のための体制構築が必要となる。農業分野における重要課題であり、今後の進展を期待する。

以上